

とやまエコ・ストア制度登録店の取組み実績（令和6年度）

とやまエコ・ストア制度の取組み（1 レジ袋無料配布廃止、2 資源物の回収、3 低炭素化の取組み）により、次のような効果が得られると推計されます。（〔 〕内：令和5年度との比較）

① リサイクル量

3,089 t [-112]	(資源物の回収量)
・ 富山県内のリサイクル量 (102,502 t (R3)) の3.0%分に相当	



② 最終処分（埋立）削減量

467 t [-193]	(資源物の回収量から、これら进行处理したときに発生する焼却灰や不燃物の量を推計)
・ 最終処分量 (35,628 t (R3)) の1.3%分に相当	



③ CO₂削減量

24,220 t-CO ₂ * ¹ [-11,773]	(資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)
● 富山県の約5,110世帯分の年間CO ₂ 排出量に相当* ² ● 県民1人当たり年間24.5 [kg-CO ₂]の削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間58.6 [kg-CO ₂]の削減量に相当	

※1 富山県内の民生業務部門のCO₂排出量 (154[万t-CO₂] (R4)) の1.6%分に相当

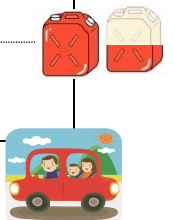
※2 1世帯の年間CO₂排出量を4.74 [t-CO₂/年] (R4 富山県推計)として推計

④ 原油削減量

8,700 kl* ¹ [-3,520]	(資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)
県民1人当たり年間8.8[ℓ]の原油削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間21.0[ℓ]のガソリン削減量に相当* ²	

※1 ドラム缶 4.4[万本]に相当

※2 原油が全てガソリンに精製されると仮定



県民の皆さんと事業者の皆さんとの協働の取組みは、ひとつひとつは小さな行動ですが、これが輪となって広がって、大きな効果を生みます。
お店とのエコ活動をきっかけに、家庭や職場でもエコライフの実践を“あたりまえ”にしましょう！

